

## 木城町とNTT西日本など

### 水道事業DX推進へ協定

水道事業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しようと、木城町とNTT西日本宮崎支店(横奥宏明支店長)、NTTテレコン九州支店(中島伸樹支店長)は3日、実証実験の実施に関する協定を締結した。写真。町内の観光施設や家庭の水道メーターを遠隔で検針するほか、高齢者の見守りについての効果を検証する。



町では現在、検針員が家庭や事業所を回り、メーターを確認している。使用量が多い事業所などのメーターは鉄製のカバーで覆われており、検針作業の負担は大きいという。今後、人口減少で人材の確保が難しくなるとみられ、実証実験に取り組むことになった。

対象施設は木城温泉館「湯らら」や高齢者宅の計5カ所。電子式水道メーターに通信端末を取り付け、NTTテレコンの集中監視センターを介して検針する。一定期間水道の使用が

無かった際などは、利用者の健康に異変が発生している可能性があるため町に連絡が入る。期間は7月まで。

同町役場で締結式があり、半渡英俊町長や横奥支店長、中島支店長が協定書に調印。半渡町長は「効率化や持続可能な地域づくりに向け、有効性を検証していく」と述べた。(新坂英伸)